

【141介護予防認知症対応型通所介護・142認知症対応型通所介護】

記入者名()

電話番号(- - -)

現在、指定を受けて活動中のサービスについて、利用者の有無に関わらず、提供体制(定員)、開催日数を記入してください。
「9月中」の利用者がいない場合には、「2なし」を○で囲んでください。

対介護予防型通所認知症介護

定 員	人
9月中の開催日数	日

※介護と介護予防を一体的に行っている場合は、同一の定員、開催日数を記入してください。
※開催日数とは、利用者がいなくとも事業所を開催していた日のことをいいます。

9月中の利用者

1あり
2なし

	要支援1	要支援2	その他
利用実人員数(人)			
利用延人員数(人)			

(4)サービスの提供状況

認知症対応型通所介護

定 員	人
9月中の開催日数	日

※介護と介護予防を一体的に行っている場合は、同一の定員、開催日数を記入してください。
※開催日数とは、利用者がいなくとも事業所を開催していた日のことをいいます。

9月中の利用者

1あり
2なし

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他
利用実人員数(人)						
利用延人員数(人)						

(5)事業所の形態

事業所の形態について、該当する番号を1つ○で囲んでください。

1 単独型

2 併設型

3 共用型

(6)社会福祉法人等による軽減の状況

1 実施している
2 実施していない

→ 9月中の軽減者数

(生活保護受給者等は含みません)

(7)介護福祉士養成校及び社会福祉士養成校からの実習生受け入れ状況(過去1年間)

平成23年10月1日～平成24年9月30日の間に
介護福祉士養成校からの実習生を受け入れたことがありますか。

1 受け入れあり
2 受け入れなし

平成23年10月1日～平成24年9月30日の間に
社会福祉士養成校からの実習生を受け入れたことがありますか。

1 受け入れあり
2 受け入れなし

(8)従事者数

	常勤専従	常勤兼務	換算数	非常勤	換算数		常勤専従	常勤兼務	換算数	非常勤	換算数
1 医 師							5 調 理 員				
2 看 護 師							6 管 理 栄 养 士				
3 準 看 護 師							7 栄 养 士				
4 機能訓練指導員							8 歯 科 衛 生 士				
4 の う ち 理 学 療 法 士							9 生 活 相 談 員				
4 の う ち 作 業 療 法 士							9 の う ち 社 会 福 祉 士				
4 の う ち 言 語 聽 覚 士							10 介 護 職 員				
4 の う ち 看 護 師							10 の う ち 介 護 福 祉 士				
4 の う ち 准 看 護 師							11 その他の職員				
4 の う ち 柔 道 整 復 師											
4 の う ち あん摩マッサージ指 圧 師											

(補問)認定特定行為業務従事者
(介護職員等であって、喀痰吸引等の業務の登録認定を受けた従事者)

人

(注)「常勤専従」については、換算数の記入は不要です。

「常勤兼務」「非常勤」については、右記の計算式により換算数を計算し、
換算数 = $\frac{\text{従事者の1週間の勤務延時間数(残業は除く)}}{\text{当該事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)}}$

それぞれの「換算数」欄に記入してください。

小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。

得られた結果が0.1に満たない場合は「0.1」と計上してください。

※「介護予防認知症対応型通所介護」と「認知症対応型通所介護」を一体的に行っている場合は、兼務ではありません。

※雇用形態にかかわらず、事業所が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務している場合は「常勤」、
勤務していない場合は「非常勤」としてください。

(換算数の詳細は手引きを参照してください。)

【141介護予防認知症対応型通所介護・142認知症対応型通所介護】については以上です。他のサービスを提供している場合は、1ページに戻り、該当ページにご記入ください。